

各 位

2023年12月1日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

ゴキに秘められし謎の解明に全力で挑む研究エッセイ『ゴキブリ・マイウエイ』刊行

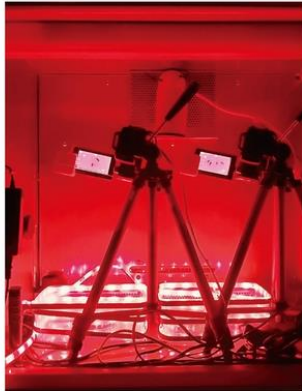
インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、『ゴキブリ・マイウエイ この生物に秘められし謎を追う』（大崎遥花／著）を刊行いたしました。



「クチキゴキブリのメスとオスは、互いの翅を食い合うらしい」

類を見ない不思議な現象に惹かれた著者が、採集・飼育・繁殖方法など、わからないことだらけのこの生物に秘められた謎を体当たりで追いかける——。沖縄・やんばるでの採集、トライ&エラーの飼育、予算がない中でのDIYな実験、そして翅の食い合いの意義とは——行動生態学の基本と最前線をわかりやすく解説します。

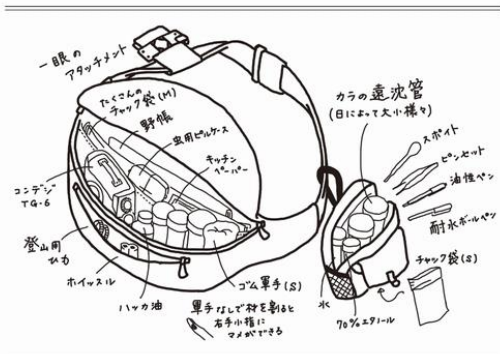
そもそも研究とは何のために行うのか、学会を活用するには？ 論文はどうやって書かれているのか、など知られざる研究の現場、研究世界の歩き方についても語ります。



▶ 右上／撮影用インキュベーター内のセッティング。ライトは赤色LED。ラップのケースは支柱
右下／撮影用インキュベーターの全貌。ドアの小窓は光が入らないようアルミホイルで塞ぐ

▲ 各個撮影用レイアウト。撮影用インキュベーター内を下から写したところ。ゴキの腹面が見える

◀ 配偶行動撮影用レイアウト。個体を背面から撮影する。SDカードを交換しながら72時間ぶっ通しで撮影



ウエストポーチの中身

集道具をできるだけ腰に付けられるように工夫している。リュックは非常に軽いものを購入し、そこに飲み物だけを入れて出かけ、現地でゴキブリを採集したときはゴキをチャック袋に入れて、ほぼカラであるリュックにぽいっと入れる。

リュックに道具が入っていると機動性が損なわれるが、腰に付けていればスツと取り出せる。私の調査ではそこまで激しい登山を伴わないため、腰から多少道具がブラブラしていても体力の消耗は少ない。

最初は、米軍のお下がりがリュックを疎大の知人に頼んで買ってきてもらってたんだけど、米軍の屈強なお兄さんが背負うリュックということもあって、とにかくかき。なんでも入るが、取り出すたびに



ゴキブリを入れるリュック

フィールドに出るときは、先に述べた探

ハブ、ブユ、ヌカカときどきアブ

だ。

当時は、与那のスタッフの一人だった花重治さんに非常によくしていただき、作業の手伝いから細かい道具の貸し出しまでいろいろ助けてもらってことなきを得た。また、別のときにはゴキブリの体重を量るために「電子ばかり」を貸していただいたこともある。さすがに電子ばかりは研究室から持っていくことはできないので、非常に助かった。演習林のような研究施設での調査は研究に沿ったサポートを得られるのがメリットの一つだ。

まだ現地で調査を敢行させてもらえるか分からなかったが、まあ、これで採集はできるだろう、という用意をして、一人、福岡空港から飛び立った。しかし実際に調査を始めることや持ち帰ってこなかったけれど必要なものが出てきて、現在ではイラストのような装備となっている。



本文に収録した超細密で美しいイラストは、著者による作画。

研究対象である生き物と、それに生涯をささげる研究者、研究という営みの魅力が詰まった一冊です。

ブックデザイン／寄藤文平＋垣内晴

●内容

第1章／やんばるの地に降り立つ

第2章／謎の行動、翅の食い合い

第3章／三度の飯より研究

第4章／クチキゴキブリ採集記

第5章／実験セットを構築せよ！

第6章／戦場でありフェス、それが学会

第7章／翅は本当に食われているのか？

第8章／論文、それは我らの生きた証

第9章／ゴキブリの不可思議

第10章／研究者という生き物

●著者略歴

大崎遥花（おおさき・はるか） 1994年生まれ。日本に現存する唯一のクチキゴキブリ研究者。九州大学大学院生態科学研究室博士課程を修了後、京都大学を経て、2023年よりノースカロライナ州立大学で研究を行う。日本学術振興会特別研究員CPD。狭い場所が好きなのにアメリカの家は広く、最近落ち着かないらしい（研究者と研究対象は似るといふ）。面白いといえばゴキブリ、でもカッコいいといえばカミキリ。ゴキブリ採集の副産物の土壌動物も好物。ペンで生物画を描くのが趣味。クチキ

ゴキブリ研究に生涯を捧げることになるのだろうかあと腹をくくっている。

●書誌データ

書名：『ゴキブリ・マイウェイ この生物に秘められし謎を追う』

著者：大崎遥花

発売日：2023年12月4日

定価：1760円（本体1600円＋税10%）

280ページ／46判／1色刷（カラー口絵付）

<https://www.yamakei.co.jp/products/2821063150.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：綿

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>